

警戒レベルと避難情報について

大雨により河川が氾濫を起こす危険がある場合には、市から避難情報と警戒レベルが発令されます。警戒レベルに合わせて、速やかに適切な避難行動をとってください。

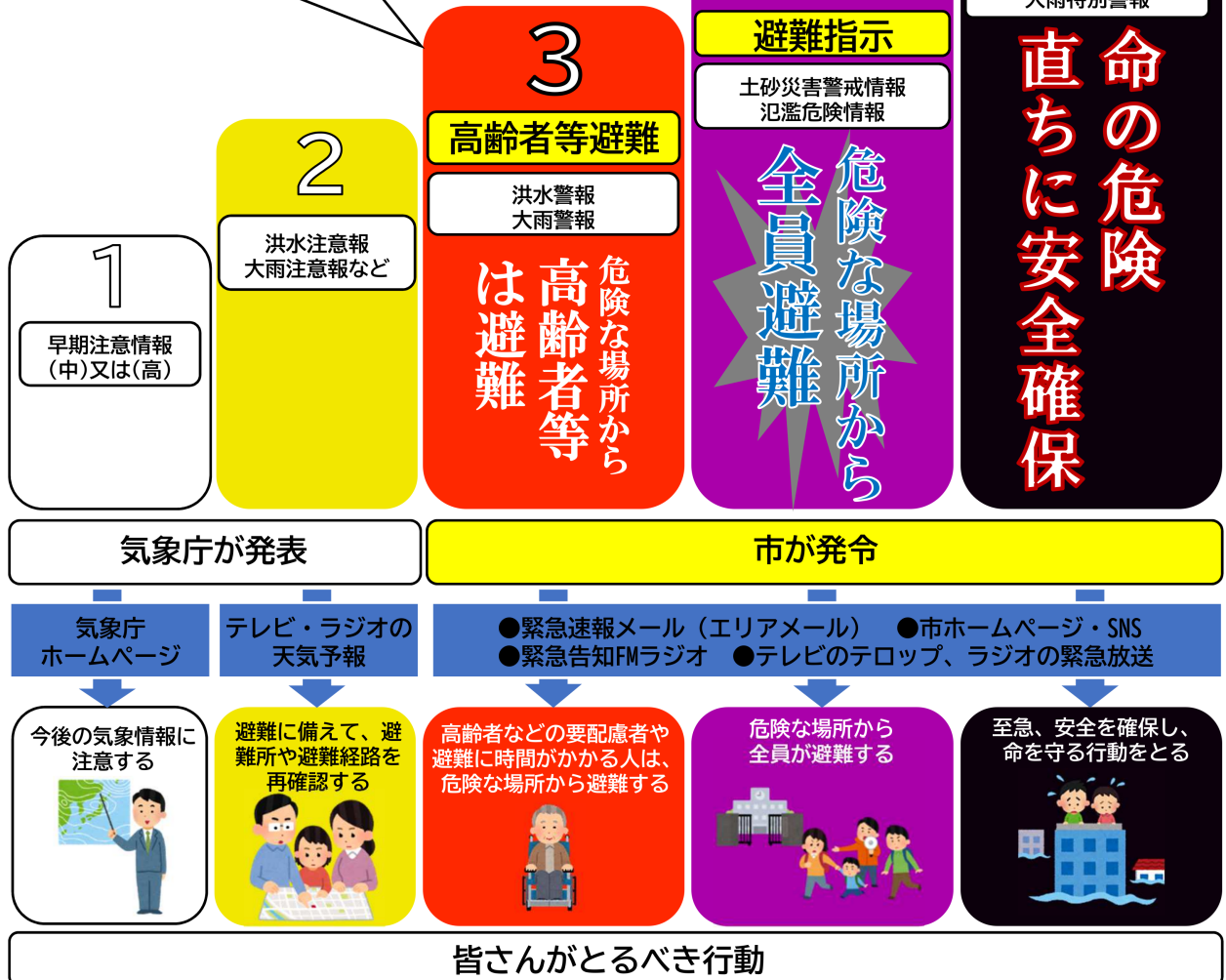
なお、岩見沢市において、警戒レベル3以上相当の各種警報や河川水位情報が報道されても、その状況によっては避難情報が発令されない場合もありますので、注意してください。

市民の皆さんが「とるべき行動」

こちらは災害対策本部です。警戒レベル4「避難指示」を発令しました。☆☆地区、□□地区の方は、直ちに避難してください。開設している避難所は○○小学校、▽▽集会所です。避難所への移動が危険な場合は、屋内の安全な場所に避難してください。

こちらは災害対策本部です。警戒レベル5「緊急安全確保」を発令しました。□□地区で●●川が氾濫しています。□□地区の方は直ちに、近くの安全な場所に緊急避難し、安全を確保してください。

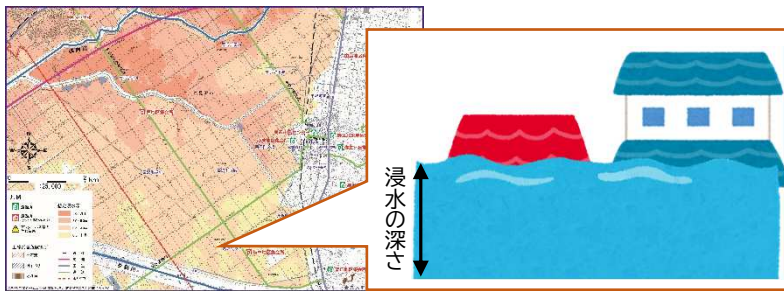
こちらは災害対策本部です。警戒レベル3「高齢者等避難」を発令しました。☆☆地区、□□地区の方で、避難に時間がかかる方は、避難をしてください。開設している避難所は○○小学校、▽▽集会所です。



水害のときに避難する場所の確認と確保について

浸水想定区域を確認

- ◆洪水ハザードマップで自分の家の位置を確認し、どの程度浸水する可能性があるのか確認しましょう。



より詳しい情報を知りたい方は

自宅の具体的な浸水の深さや、浸水するまでの所要時間など、詳しい情報を知りたい方は「浸水ナビ」(国土交通省)で確認できます。

【浸水ナビ】
(国土交通省)



避難所への避難経路を確認

- ◆避難所への避難が必要な場合は、避難所の場所と避難所までの経路を確認しましょう。



避難所以外にも避難できる場所を確保

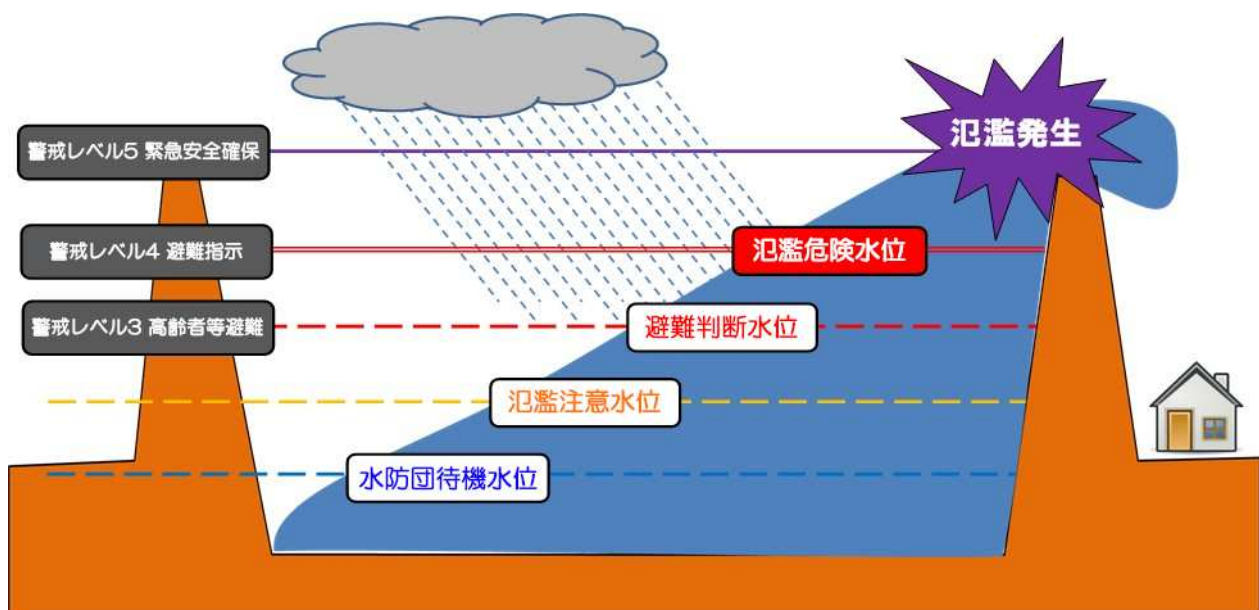
- ◆安全な地域に住んでいる親戚や知人の家、自家用車で避難できる安全な場所など、避難所以外で避難することのできる場所を確保しましょう。



河川水位について

大雨により河川の水位が上昇すると、河川の氾濫につながる恐れがあります。大きな河川については、河川ごとに「水防団待機水位」、「氾濫注意水位」、「避難判断水位」、「氾濫危険水位」という氾濫の危険性を示す4段階の水位が定められています。

市では、河川の水位が「避難判断水位」、「氾濫危険水位」に達したとき又は達する恐れがあるときに、気象予想なども踏まえ、その状況を総合的に勘案して避難情報を発令します。

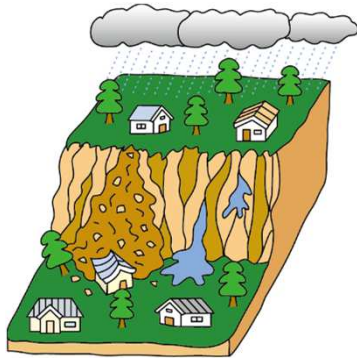


※各河川の水位は「川の防災情報」のホームページで確認できます。

土砂災害について

大雨や雪どけ水、地震などによって発生する「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」のことを土砂災害といいます。

がけ崩れ



地面にしみ込んだ水分で土の抵抗力が弱くなり、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる、急な斜面で発生する災害で、突発的に起こり、速いスピードと強い破壊力を持ちます。

がけ崩れの兆候

小石がパラパラと落ちてくる。

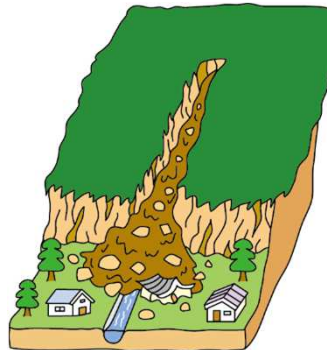


がけにひび割れができる。



- がけから水が湧き出る。
- 湧き水が止まる・濁る。
- 地鳴りがする。

土石流



大雨がきっかけとなり、谷や斜面にたまった土砂が、雨による水と一緒に一気に流れ出して起こる災害で、流れの急な河川や扇状地で発生する可能性があります。

土石流の兆候

山鳴りがする。



急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。



- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- 腐った土のにおいがする。
- 立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる。

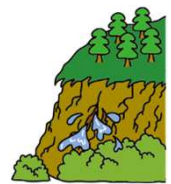
地すべり



比較的ゆるやかな斜面において、滑りやすい地中の粘土層などが、地下水などの影響でゆっくりと動き出す現象で、広い範囲で起こる可能性があります。

地すべりの兆候

がけや斜面から水が噴き出す。



地面がひび割れたり陥没する。



- 井戸や沢の水が濁る。
- 地鳴り、山鳴りがする。
- 家や壁に亀裂や段差が発生する。
- 樹木や電柱が傾く。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害の危険性が高まったときに、北海道と札幌管区气象台が共同で発表する情報です。

この情報は、テレビ、ラジオで即時放送され、インターネットでも情報を見ることができます。

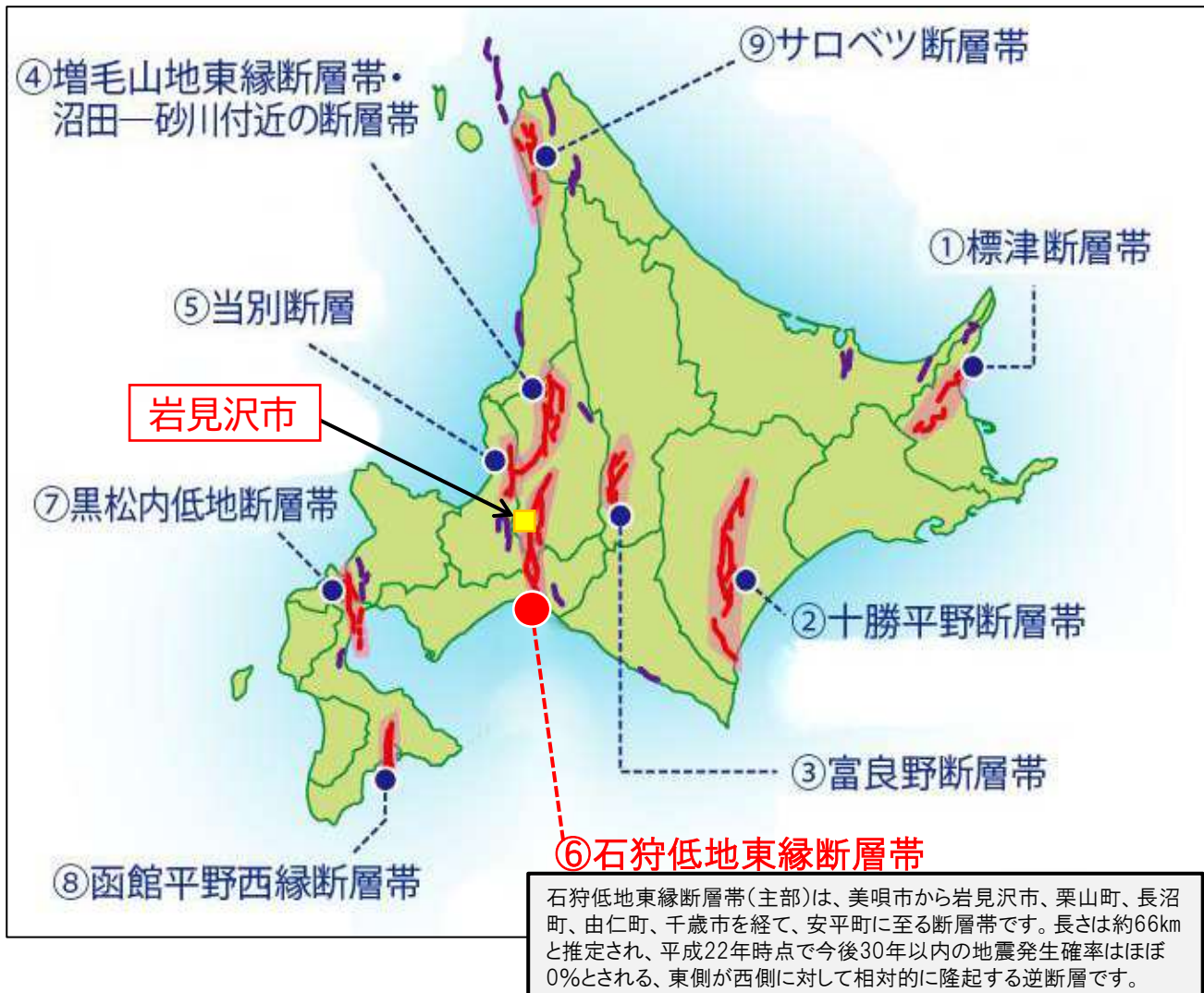
土砂災害警戒情報が発表された場合や前兆現象を見つけたら、早めに避難しましょう。

土砂災害警戒区域等については、洪水ハザードマップ(大川)を確認しましょう。



地震について

北海道にある代表的な活断層について



地震の種類について

■海溝型地震

揺れの特徴:大きな横揺れが起こる

揺れる時間:長く続く

被害の特徴:家屋倒壊や火災に加え、大規模な津波の発生が予想される

代表的な地震:東日本大震災(H23)、十勝沖地震(H15)、北海道南西沖地震(H5)



■内陸型地震

揺れの特徴:縦に突き上げるような揺れが起こる

揺れる時間:比較的短時間でおさまる

被害の特徴:人の住んでいる真下で揺れるため、家屋倒壊や火災の被害が予想される

代表的な地震:能登半島地震(R6)、胆振東部地震(H30)、熊本地震(H28)、阪神淡路大震災(H7)



地震への日頃からの備えについて

地震が発生する前の対策

地震が発生する前にできる対策として、地震が発生した際に家の中での被害を小さくするため、家具の固定や配置を工夫するなどの対策が有効です。

倒れやすい家具は固定

●背の高い家具は地震が発生した時に転倒する恐れがあります。家具の上部と天井を突っ張り棒での固定、家具と壁をL字型金具で固定するようにしましょう。



寝室は家具を減らす

●寝室の家具はなるべく減らし、家具を置く場合は、就寝中に倒れた家具の下敷きにならないよう、家具の配置に注意しましょう。



重いものは下に

●重心を安定させるため、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにしましょう。また、なるべく棚に隙間を作らないようにしましょう。



窓ガラスの飛散防止

●地震の揺れにより、窓ガラスが割れ、飛散する恐れがあります。日頃から、窓ガラスに飛散防止フィルムを張っておきましょう。



感震ブレーカーの設置

●地震時に設定以上の揺れを感知した時に電気を自動的に止める機器です。

分電盤タイプ	コンセントタイプ	簡易タイプ
工事が必要	工事ありと工事なしのタイプあり	電気工事不要

地震は、事前に災害が発生することを予見できません。そのため、地震が発生する前に日ごろから地震に備えておく必要があります。

地震が発生した後の行動

地震が発生した際は、まずは揺れが収まるまで身の安全を確保し、火元の確認や出口の確保は必ず揺れが収まってからしましょう。

地震発生中



揺れている間は、丈夫なテーブルなど、物が「落ちてこない」「倒れてこない」空間に身をよせて、揺れが収まるのを待ちましょう。

揺れが収まってから



揺れが収まったら、①火元の確認、②出口の確保を落ちついて行いましょう。

状況に応じ避難



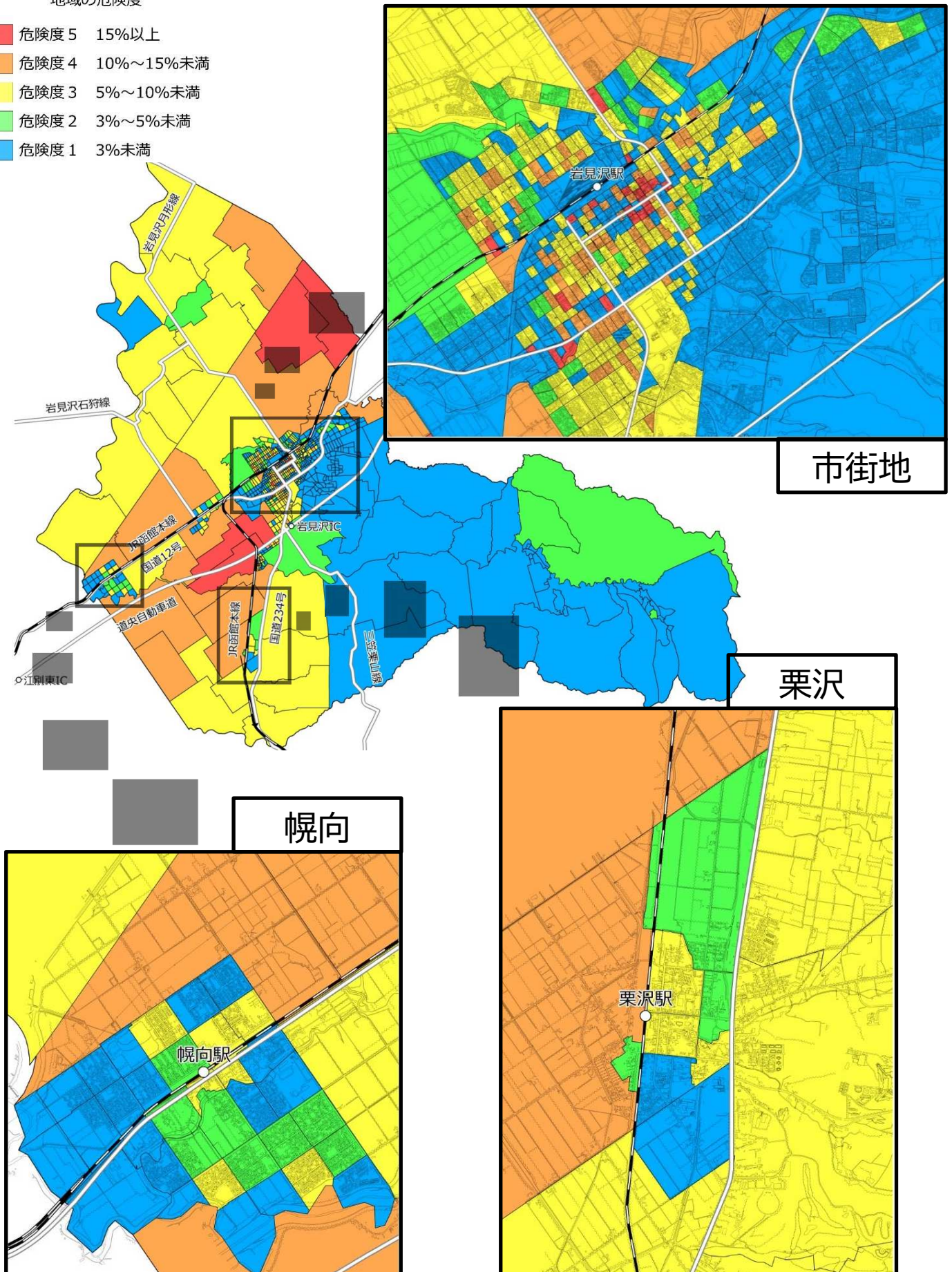
自宅にとどまることが難しい場合は、躊躇せず避難所など安全な場所に避難しましょう。

地域建物危険度マップ

地域建物危険度マップは、震度6強の地震が冬に発生した場合に、その地域で建物がどの程度全壊するかをあらわしたものです。日頃からの地震対策に役立ててください。

地域の危険度

- 危険度5 15%以上
- 危険度4 10%～15%未満
- 危険度3 5%～10%未満
- 危険度2 3%～5%未満
- 危険度1 3%未満



備蓄について

家庭での備蓄について

◆『最低3日間』できれば1週間分の備蓄を

大きな災害が発生した場合、国や北海道などからの支援物資の到着には一般的に3日間かかるといわれています。さらに、災害の状況によっては、より時間を要することも考えられます。そのため、家庭で行う備蓄では「最低3日間」できれば1週間分の備蓄をするようにしましょう。

1人分の備蓄品(食料品)の例

●食料品

朝食:缶詰パン、果物缶詰×3日分

昼食:カップラーメン×3日分

夕食:アルファ化米、レトルト食品×3日分

●飲料水

3ℓ/日×3日分 = 9ℓ



～ 効率的な備蓄方法「ローリングストック法」～

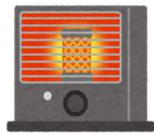
普段から、水や食料を少し多めに備蓄しておき、賞味期限の近いものから日常生活の中で消費し、消費した分を買い足すことで、無駄なく、常に一定量の備蓄をする『ローリングストック法』が効果的です。



その他の備蓄



カイロ



ポータブルストーブ



シュラフ
(寝袋)



トイレットペーパー



カセットコンロ



携帯用扇風機

非常持出し品について

基本的な非常持出し品



乾電池
モバイルバッテリー



3日分の食料・水



懐中電灯



携帯ラジオ



スリッパ



衛生用品



着替え



常服薬



貴重品(財布や通帳)

※持出し品はリュックなどにまとめ、避難時にすぐ取り出せる場所に保管しておくことが大切です。

災害時の非常持出し品リスト

基本的な持出し品（◎：用意してほしいもの）

◎	携帯電話(スマホ)の充電ケーブル、USB コンセント
◎	スマホのモバイルバッテリー
◎	3日分の飲料水
◎	3日分の食料
◎	照明器具(懐中電灯、ランタン)
◎	多機能防災ラジオ(手回し充電、ライト機能付き)
◎	乾電池(照明器具、ラジオ用)
◎	スリッパ
◎	タオル
◎	歯磨きセット(歯ブラシ、歯磨き粉、コップ)
◎	カトラリーセット(スプーン、フォーク、箸)
◎	紙コップ、紙皿、プラスチック皿
◎	ポケットティッシュ
◎	ウェットティッシュ(からだふき)
◎	アルミブランケット
◎	アルミ簡易寝袋
◎	エアーマット(エアーポンプ付き)
◎	エアー枕
◎	救急セット(絆創膏、ガーゼ、ホワイテテープ)
◎	ボールペン、メモ帳
◎	ビニール袋(ポリ袋)
◎	マスク
◎	軽食(おやつ:ビスケット、クッキー、ようかん)
◎	お金(小銭)
◎	身分証明書(写し)
◎	衣類(下着、Tシャツ、ジャージ)
	市販の薬(風邪薬、胃腸薬、頭痛薬)
	携帯用除菌スプレー
	レインコート
	簡易トイレ(凝固剤、中身が見えないゴミ袋)
	目隠しポンチョ
	布テープ
	包装ラップ
	アイマスク、耳栓
	給水バック
	軍手(ラバー手袋)
	ヘルメット(折りたたみ式)
	多機能ナイフ
	ホイッスル
	ポーチ(小分け袋)
	圧縮袋
	洗濯用洗剤(洗濯セット)
	防煙フード(スモークシャットアウト)
	ハンディファン(携帯用扇風機)
	使い捨てカイロ

<乳幼児がいる家庭は>

粉ミルク、離乳食
ほ乳瓶、お椀、スプーン
乳幼児用紙おむつ
ウエットシート(おしりふき)
抱っこ紐
おもちゃ、絵本
乳幼児のお菓子
母子健康手帳のコピー

<介護が必要な方(高齢者)がいる家庭は>

補聴器
杖(折りたたみ式)
老眼鏡・メガネ
持病の薬、お薬手帳
入れ歯洗浄剤、洗浄シート
介護用品(大人用紙おむつ)

<女性の方は>

生理用品
オリモノシート(下着ライナー)
サニタリーショーツ
ヘアゴム・ヘアクリップ、ヘアブラシ
手鏡
スキンケア用品、アイブロウ
中身の見えないゴミ袋

<ペットがいる家庭は>

キャリーバッグ、ケージ、鳥かご
首輪、リード、ハーネス
ペットフード
食器類(水、食器用)
トイレ用品(ペットシート、猫砂)
ポリ袋(ゴミ袋)
ガムテープ
おもちゃ
ブラシ
ペットの写真(画像)
薬(普段服用している薬がある場合)

避難の方法について

避難する方法は大きく分けると「立退き避難(水平避難)」と「屋内安全確保(垂直避難)」があります。あらかじめ、自分の住んでいる場所がどういった場合に危険となるのかを確認し、「立退き避難」と「屋内安全確保」を適切に使い分けましょう。

また、「立退き避難」「屋内安全確保」を安全にできない可能性がある場合は、「緊急安全確保(垂直避難)」の避難行動を取りましょう。

立退き避難(水平避難)



自宅から離れて「避難所」や「近隣の安全な場所」へ移動する避難行動です。

- ◆開設している地域の避難所へ避難する。
- ◆安全な地域に住んでいる親戚や知人の家に身を寄せる。
- ◆安全な場所に自動車で移動して車中避難する。

屋内安全確保(垂直避難)



水害時に2階以上への移動により安全を確保することが可能な場合に取りる避難行動です。あらかじめ、このハザードマップで「浸水想定区域内にあるか」「浸水する深さは大丈夫か」を確認しておく必要があります。

- ◆自宅の2階以上など、浸水が想定される高さよりも高いところに避難する。

緊急安全確保(垂直避難)



屋外へ出ることや避難所に向かうことが危険な状態のときに、緊急的に一時避難する避難行動です。

- ◆自宅の2階や少しでも高いところに緊急的に避難する。
- ◆隣近所の高くて頑丈な建物に避難する。
- ◆土砂災害のリスクがある地域では、崖から少しでも離れた部屋へ退避する。

※水害時に車で避難するときの注意事項



- エコノミークラス症候群にならないよう水分を十分にとり、足のマッサージやストレッチを行うとともに、寝るときは手足を伸ばしましょう
- 夏の気温の高いときは熱中症にならないようガラスを覆いましょう
- 冬は一酸化炭素中毒にならないよう排気口周りは常に除雪しましょう
- 衣服の重ね着などして低体温症に注意しましょう
- 車上荒らしに遭わないよう人気のない暗い場所は避けましょう
- 簡易トイレを用意しておきましょう



ペットとの避難について

災害が起こった時に最初に行くことは自分自身や家族の安全確保ですが、ペットを飼育している方はペットの安全確保についても、いざというときに慌てないように普段から備えておく必要があります。

市では、一部の避難所でペットの同行避難を受入れしますが、避難所には動物の苦手な人やアレルギーを持つ人も避難してきますので、ルールを守ってトラブルがないようにしましょう。

避難所でのペットの飼育は原則、飼い主の方に行っていただきますが、他の避難者の生活に及ぼす影響を最小限にするためにも、ペットを飼っている人は、あらかじめ具体的な準備をしておきましょう。

ペット避難の方法について

屋内ペット避難

屋内の指定されたスペースに、ペットを入れたケージ又はキャリーバッグを置いて飼育します。

※受入れにはケージ又はキャリーバッグが必要です。



屋外ペット避難

屋外の指定されたスペースで、首輪とリードで柱などにペットを繋ぎ止めて飼育します。

※受入れには首輪とリードが必要です。



車内ペット避難

避難所の駐車場に駐車した避難者自身の自家用車の車内でペットを飼育します。



ペット避難への日頃からの備えについて

避難所には、ペットフードやペットシートなどの備蓄品はありません。飼い主の方は、普段からペットの生活用品や食料を備蓄(概ね3日分)し、避難の際に必ず持参してください。

避難所に持っていくもの



ケージ(天井・床あり)又はキャリーバッグ



首輪・リード



ペットフード・水・食器類



ペットの写真



毛布・ビニール袋・ガムテープなど

～日常のしつけと健康管理～

避難所においては、ペットは家庭とは異なった環境での生活を余儀なくされます。避難所ではケージの中で過ごさなければなりませんし、室内で放して飼う、人と同じ居住空間で飼うといったことは難しくなります。災害に備え、しつけや健康管理をしっかり行いましょう。

(1)しつけ

緊急時に安全に避難し、避難所でトラブルなく飼育できるように基本的な「しつけ」を日頃からしておきましょう。

- ・人やほかの動物に対して攻撃的にならないように、幼少期から社会に慣れさせましょう。
- ・ケージやキャリーバッグの中での生活に慣らしましょう。
- ・ペットシートや猫砂など、ケージ内でのトイレに慣らしましょう。

(2)健康管理

避難所では獣医による診察は受けることができません。日頃から感染症予防・持病対策をしておきましょう。

- ・感染症予防としてワクチン接種を行いましょう。
- ・定期的なシャンプーやつめの手入れをしておきましょう。

情報の入手手段について

岩見沢市メールサービス



岩見沢市では、メール登録された方の携帯電話やパソコンのメールに、岩見沢市内の災害や気象に関する防災情報を配信しています。

配信内容

- 気象・地象情報** 気象警報の発表情報、台風の接近情報
- 防災情報** 避難所開設(自主避難受入)情報、河川水位上昇に伴う注意喚起、停電の情報 など
- 防犯情報** 犯罪警戒情報や防犯啓発に関する情報
- お知らせ** 休日当番医、排雪による道路通行止め等の生活情報

登録方法

- ①右のQRコードを読み取り空メールを送信する
- ②返信メールから登録サイトへ移動し、利用登録をする



PC・スマホ用 フィーチャーフォン用

緊急告知FMラジオ



岩見沢市では、災害時に自動で起動して災害情報を放送する「緊急告知FMラジオ」を対象となる方へ無償貸与しています。

配信内容

- 気象・地象情報** 各種特別警報の発表、緊急地震速報
- 災害情報** 避難情報の発令や避難所開設情報
- 国民保護情報** 弾道ミサイルや大規模テロに関する情報

無償貸与の対象者

避難行動要支援者の対象者で、名簿・個別避難計画の作成に同意し、避難に関する情報提供を希望された方

避難行動要支援者の対象者

- ①高齢者 : 75歳以上の方のみで構成される世帯の方
- ②要介護者: 要介護3以上の認定を受けている方
- ③障がい者: 身体障害者手帳1級又は2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級のいずれかを所持している方 など

岩見沢市 ホームページ



岩見沢市 フェイスブック



岩見沢市 X (旧ツイッター)



そのほかにも、

- ◆緊急速報メール(エリアメール)
※配信: 避難情報、国民保護情報など
- ◆Yahoo防災情報アプリなど
を使って情報を発信します。

防災に関する情報入手サイト

気象情報

札幌管区気象台



岩見沢市民気象情報



◆石狩・空知・後志地方の防災気象情報、天気予報、地震・火山情報などを配信

◆市内14地点において観測した気温や降水量、風速などを配信

雨量・水位情報

川の防災情報 (国土交通省)



川の水位情報 (国土交通省)



◆河川や雨の各種状況などを配信

◆河川ごとに設置された水位計やカメラにより現状の河川の状況などを配信



洪水ハザードマップ(P13~P58)とは

この洪水ハザードマップは、国や北海道が管轄する河川が大雨により増水し氾濫した際に、浸水する範囲と深さを示した地図です。そのほかにも、避難所や土砂災害の危険箇所などを示しています。洪水ハザードマップを活用して、洪水に対する事前の対策や洪水時の行動、避難所の確認など日頃からの水害対策に役立ててください。

対象河川

大河川

石狩川 幾春別川 産化美唄川 夕張川 旧美唄川 美唄川 須部都川
 幌向川 利根別川 東利根別川

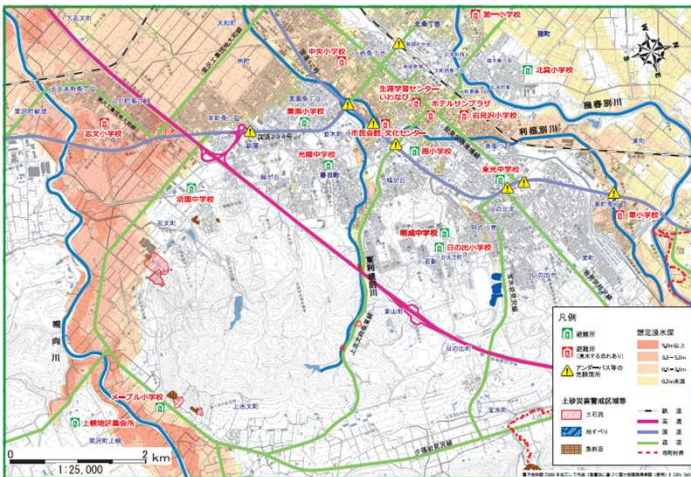
中小河川

東川 由良川 毛陽川 千代谷川 市来知川 南利根別川 上幌一の沢川
 界川 高木川 大願川 二の沢川 野々沢川 東利根別川 志文三の沢川
 幌向川 志文川 二号川 マップ川 第一幹川 ポントネ川 美流渡一の沢川
 加茂川 板東川 清真布川 旧幌向川 鈴木の沢川 シコロ沢川 ポンポロムイ川
 最上川 上幌川 茂世丑川 ダルミ川 旧幾春別川 佐々木の沢川

ご使用にあたっての注意事項

- ★各河川が氾濫した際の、浸水が想定される範囲や深さ(浸水想定区域)を重ね合わせて、最大の浸水範囲と最大の浸水深を示しています。
- ★浸水想定は1000年に1度の確率で降る大雨を想定し、各河川ごとに計算していますが、想定雨量に満たない場合でも浸水するおそれがあります。
- ★大河川、中小河川ハザードマップでは、内水による氾濫は計算されていません。

洪水ハザードマップで確認できること



平常時から、浸水想定区域や土砂災害のおそれがある区域、避難所の場所、避難経路などを確認し、災害に備えましょう。
 なお、要配慮者利用施設のうち、浸水想定区域内にある施設は、市ホームページで確認できます。



浸水が想定される区域を浸水する深さで色分けして表示しています。



洪水が起きても安全な避難所(緑)と浸水する可能性のある避難所(赤)がわかります。



大河川ハザードマップでは、土砂災害のおそれがある区域がわかります。